

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【公開番号】特開2020-73045(P2020-73045A)

【公開日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2020-019

【出願番号】特願2020-16914(P2020-16914)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

図柄始動手段による図柄の変動表示が行われていない場合に非遊技期間が開始されるように構成し、

前記変動表示中に音声演出を実行可能な音声演出手段と、

遊技者による所定操作を検知する操作検知手段と、

遊技者による操作に基づいて所定設定値を変更可能な変更制御手段と、を備えた遊技機において、

前記非遊技期間中に、前記音声演出手段による前記音声演出の出力を抑制する音声演出抑制手段と、

前記非遊技期間中に、遊技へののめり込みに関する注意喚起表示を実行可能な注意喚起表示制御手段と、

前記非遊技期間中に、所定タイマによる計時が所定時間に達した場合にデモ演出を実行可能なデモ演出制御手段と、を備え、

前記注意喚起表示の実行中も、前記所定設定値の変更を有効とし、前記所定設定値が変更された場合であっても前記注意喚起表示を終了しないように構成し、

前記非遊技期間中ににおいて、

前記操作検知手段が前記所定操作を検知した場合には、前記所定タイマをリセットすることにより、前記デモ演出制御手段による前記デモ演出の実行開始を遅延又は中止する一方、前記音声演出抑制手段による前記音声演出の出力の抑制状態への移行については遅延又は中止しない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機では、例えば図柄変動が終了して非遊技期間に入った場合、その後の所定時点、例えばタイマの計時が所定時間(例えば180s)となったときにデモ演出を開始するものが主流となっている(特許文献1参照)。このデモ演出では、例えば画

像表示手段に機種イメージ画像や企業ロゴが表示される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで近年、パチンコ機等の遊技者による遊技への「のめり込み」が問題となっており、これに対する対策として、遊技機の画像表示手段にのめり込みに関する注意喚起表示を、デモ演出中や特別利益状態の終了後等の所定のタイミングで行うことが検討されている。

本発明は、非遊技期間中における各種表示等をより適切に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、図柄始動手段による図柄の変動表示が行われていない場合に非遊技期間が開始されるように構成し、前記変動表示中に音声演出を実行可能な音声演出手段と、遊技者による所定操作を検知する操作検知手段と、遊技者による操作に基づいて所定設定値を変更可能な変更制御手段と、を備えた遊技機において、前記非遊技期間中に、前記音声演出手段による前記音声演出の出力を抑制する音声演出抑制手段と、前記非遊技期間中に、遊技へののめり込みに関する注意喚起表示を実行可能な注意喚起表示制御手段と、前記非遊技期間中に、所定タイマによる計時が所定時間に達した場合にデモ演出を実行可能なデモ演出制御手段と、を備え、前記注意喚起表示の実行中も、前記所定設定値の変更を有効とし、前記所定設定値が変更された場合であっても前記注意喚起表示を終了しないように構成し、前記非遊技期間中において、前記操作検知手段が前記所定操作を検知した場合には、前記所定タイマをリセットすることにより、前記デモ演出制御手段による前記デモ演出の実行開始を遅延又は中止する一方、前記音声演出抑制手段による前記音声演出の出力の抑制状態への移行については遅延又は中止しないように構成したものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、非遊技期間中における各種表示等をより適切に行うことが可能である。